

# 2年農業生産コースの生徒が 最新の農業機械やスマート農業の 現状について学びました！

1月23日（金）、株式会社新潟クボタ妙高営業所より、講師として本校卒業生の川上健弘様を招聘し、生物資源科2年1組の農業生産コースが科目「農業機械」の一環として講話をお聞きしました。

今回は、「最新の農業機械やスマート農業の現状」について、農機メーカーとしての取組、スマート農業の実際についてお話いただきました。

昨年度、高田農業高校にDX事業の一環でセンサー付き乾燥機が設置されました。また、今年度、収穫時に収量や食味を検知できる新型のコンバインを導入していただきました。どちらもKSAS（ケーサス）とのシステム連携により、乾燥状況や収穫状況などがスマートフォンやタブレットで確認でき、情報収集が容易にでき、労力が大幅に軽減されます。

コンバインは、収穫した物から収量、食味が同時にわかるなど、機械の進化に驚きました。

また、この他にも田植機やトラクタの自動操舵システムの農業機械の普及により、経験が少ない新規就農者のサポートができ、将来の日本の農業者、担い手の確保にも一役買うことでしょう。

とても充実した時間を過ごすことができました。講師の川上様、ありがとうございました。

